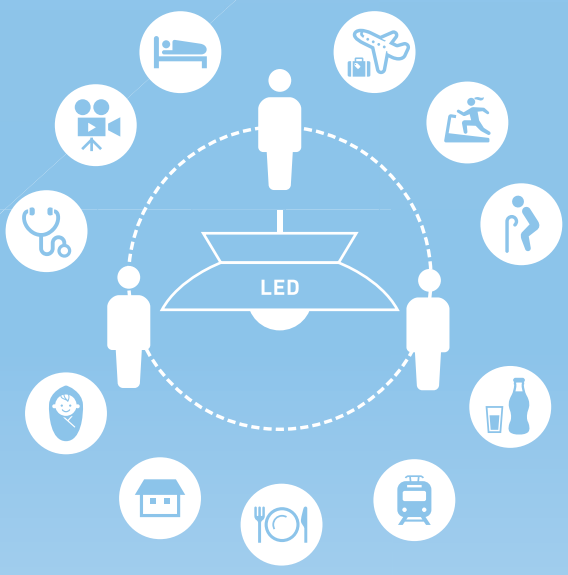
照明成長戦略

Lighting Vision 2030

～あかり文化の向上と地球環境への貢献～

Connected Smart Lighting

Human Centric Lighting



JLMA
Japan Lighting Manufacturers Association
一般社団法人 日本照明工業会

“Connected Smart Lighting & Human Centric Lighting”の普及
2030年 照明器具ストック市場 SSL化率 100%

※SSL（Solid State Lighting）：LED、有機EL、レーザーなど半導体照明

あかり文化の向上と地球環境への貢献

ビジョン

～あかり文化の向上と地球環境への貢献～

“CSL”様々なモノ、コトにつながるインテリジェントなあかりと
“HCL”人にやさしい、安全・快適・便利なあかりの
普及を通して，新しい照明価値創出と地球環境への貢献を目指します

ミッション

我々は、地球環境に配慮したやさしい“あかり”の普及に努め、より安全で快適な生活環境を実現するとともに地球環境の向上に努めます

照明業界の代弁者として、政府の成長戦略への取り組み、国内外のステークホルダーへの情報発信、交流、交渉を通じて、公平で健全な照明市場を形成し、照明業界の発展に貢献します

“Connected Industries”によるパラダイムシフトへの対応

- “CSL&HCL”の普及のための事業環境整備
- パラダイムシフトに対応した工業会組織改革

グローバル化・ボーダーレス化への対応

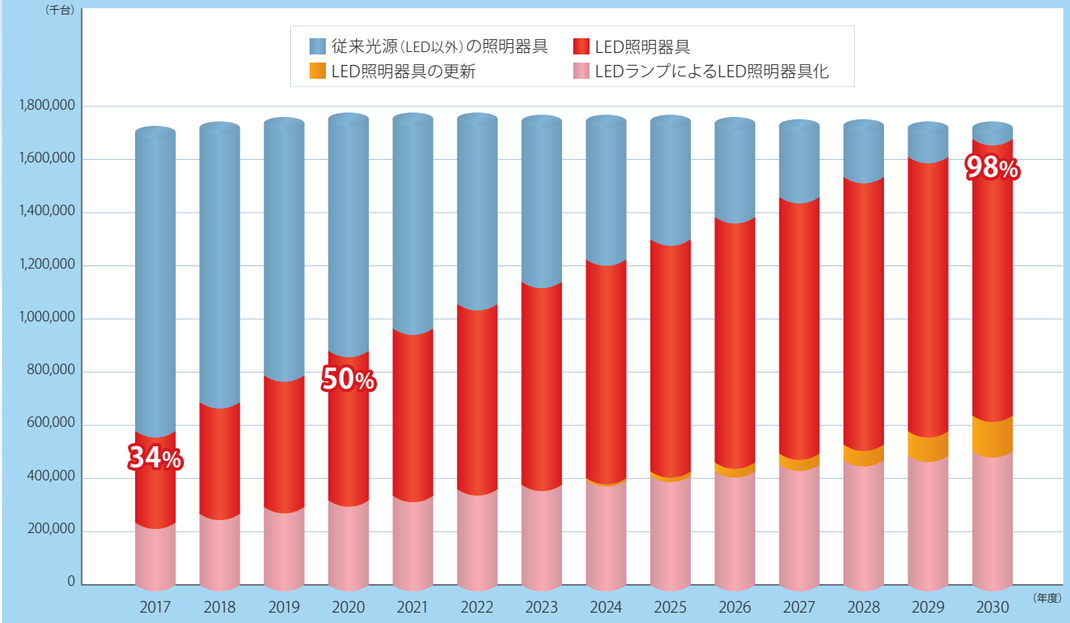
- 海外市場展開の為の環境整備
- 日本照明のブランド化
- 公正で適正な競争ができる健全な市場の維持向上

あかりの質向上とSDGsへの貢献

- ストック市場のSSL化加速による地球環境への貢献
- “あかりの質向上”による新たな空間価値の創造

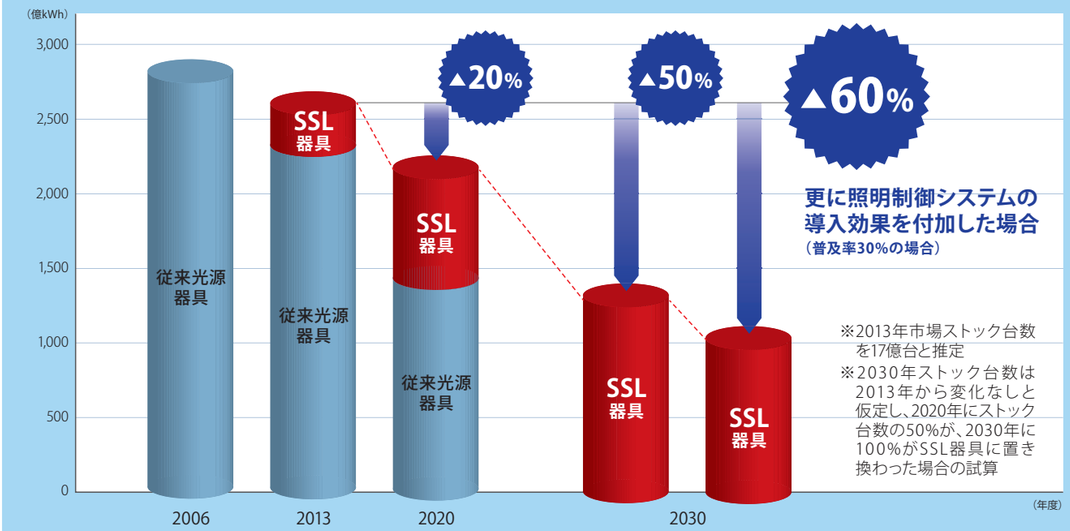
※SDGs：Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）

■国内照明器具ストック市場におけるSSL化率100%計画



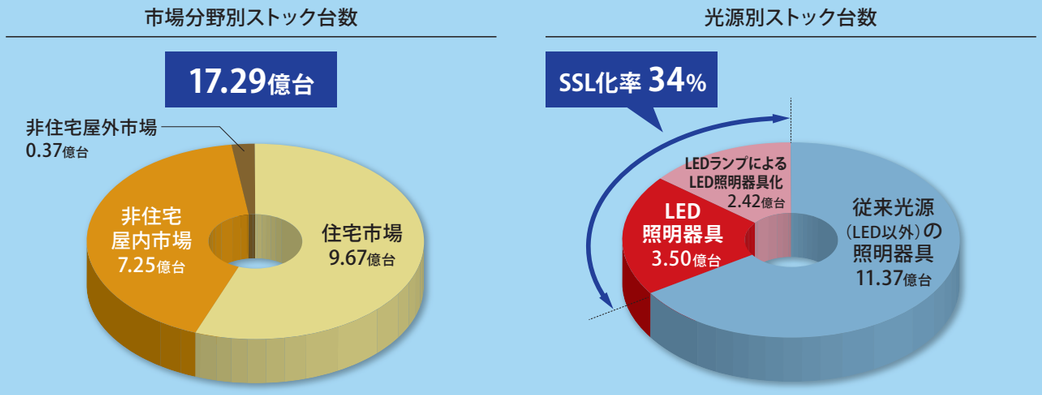
ストック市場における照明器具台数は約17億台で推移と予測
→政府目標SSL化率100%達成のために関連省庁と連携した“CSL＆HCL”の普及加速が重要

■消費電力量の削減（照明器具ストック市場のSSL化率100%を達成した場合のシミュレーション）

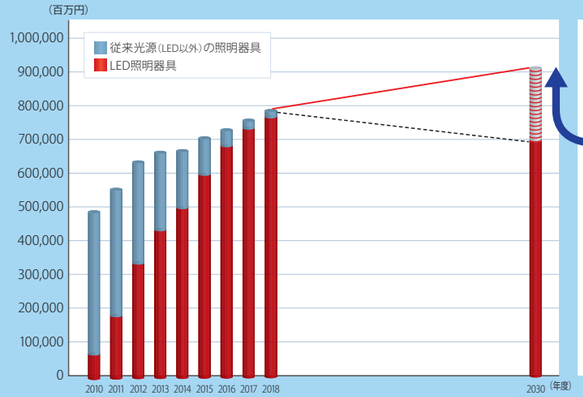


国内・海外 照明市場 動向と今後の課題

■2017年度 照明器具分野別ストック市場推定（(一社)日本照明工業会調べ）



■照明器具国内市場出荷実績と目標（(一社)日本照明工業会自主統計による）

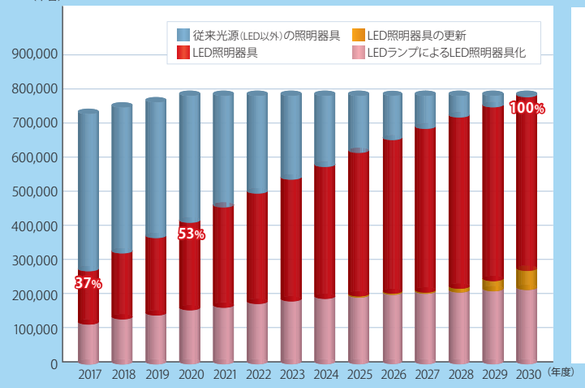


■2019年度以降、住宅着工件数や人口の推移などの市場指数から、主に住宅照明器具を中心に国内の照明器具出荷台数が減少するものと予想される。

→"CSL&HCL"など高付加価値製品の普及拡大により、LED照明器具へのリニューアル促進及び新規ビジネスの創出

→海外市場での事業拡大

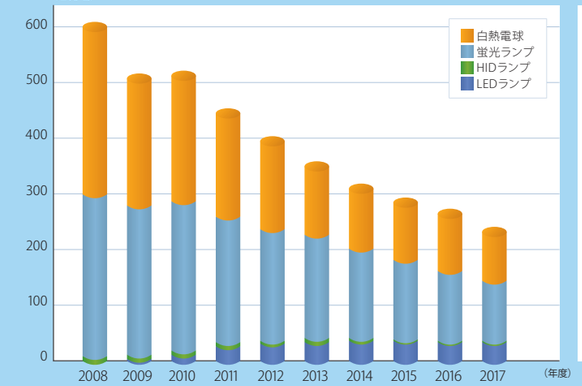
■非住宅用照明器具(屋内・屋外)のストック市場SSL化率100%のシナリオ



【シナリオ達成のための課題】

- 設備投資が困難な中小規模物件や賃貸施設のリニューアルを加速するため、普及啓発活動の強化及び補助金や税制優遇など継続的政府支援策が必要。
- 更なる消費電力量削減及び空間価値向上のため、照明制御システム導入を加速させる新たな施策が必要。

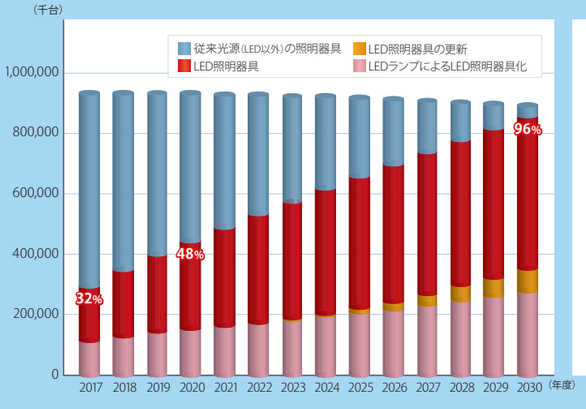
■光源類 国内出荷数量推移(経済産業省機械統計/(一社)日本照明工業会自主統計による)



- 光源の長寿命化、間引き点灯などによるランプ交換サイクルの長期化、及びランプ交換不要なLED照明器具の普及により光源事業は継続的に縮小。
- トップランナー制度による既存光源市場の縮小加速

→新たな循環型ビジネスモデルの創造
→既存光源ビジネスのソフトランディング

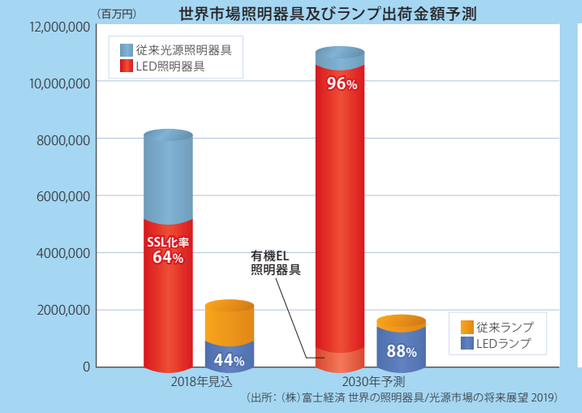
■住宅用照明器具のストック市場SSL化率100%のシナリオ



【シナリオ達成のための課題】

- 交換のために電気工事が必要な設備系照明器具のSSL化が課題。特に古い照明器具については、安全を考慮し、ランプ交換ではなく、器具のリニューアルを促進させるための施策(工事費への補助金など政府支援策含む)が必要。
- 消費者には「まだまだ使える」「もったいない」の意識があり、引っ越しや住居のリニューアル時以外で器具交換する意識が希薄である。そのため、省電力や長期使用による不安全の訴求など消費者の意識を変える広報活動を業界と行政の連携で推進する必要がある。

■世界市場動向と今後の課題



(出所:(株)富士経済 世界の照明器具/光源市場の将来展望 2019)

- 世界経済の中心は欧米から中国・インド・東南アジアへ移行し、世界の照明市場は新興国に牽引され拡大する。
- 照明器具出荷金額は、2030年には、36%増。SSL化率も64%から96%に増加。一方、ランプ出荷金額は、微減で、LED化率は88%程度に上昇すると予測。

→拡大する新興国市場への参入支援加速
→海外高付加価値市場への参入機会発掘

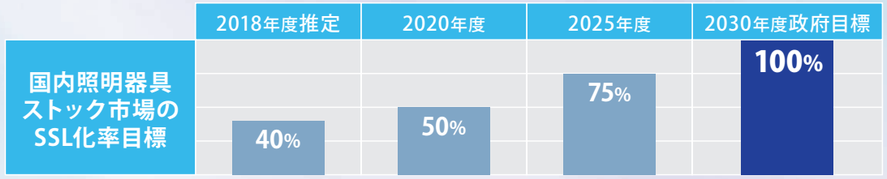
- LED製品の普及による製品のボーダーレス化、グローバル化が加速される。

→粗悪な輸入品を排除する市場監視体制の強化

Lighting Vision 2030
～あかり文化の向上と地球環境への貢献～

2030年へのロードマップ

Connected Smart Lighting & Human Centric Lighting
様々なモノ、コトにつながる多機能照明と人にやさしい、安全で、快適・便利なあかりの普及



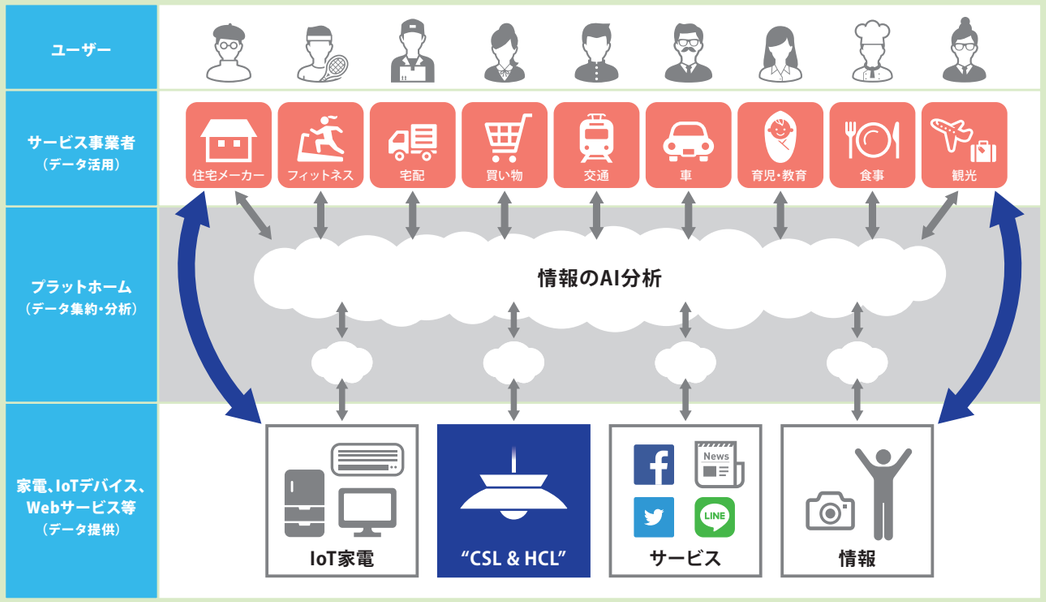
重点課題

		2019～2025年度	2030年度の目指す姿
1 “Connected Industries”よるパラダイムシフトへの対応			■IEC新規プロジェクトや分野横断コンソーシアムなどへの参画 ■ISO／CIE、ISO／TC274などへの参画による照明ソフト分野での標準化推進強化 ■他団体とのアライアンスの拡大 ■異業種会員（賛助会員）の拡大
先進技術を活用した“Connected Industries”による様々なビジネスモデル、社会の変化に対応する為、分野を超えた異業種との連携による標準化等、事業環境を整備するとともにそれに適応する工業会組織体制を強化する。	1. “CSL&HCL”普及のための事業環境整備	1-1-1. “CSL & HCL” に関する標準化推進 1-1-2. IoT、AI、ビッグデータを核とした分野・業種を超えた連携強化	
	2. パラダイムシフトに対応した工業会組織改革	1-2-1. 異業種からの新規入会促進 1-2-2. “Connected Smart Lighting“ に対応した委員会・事務局組織体制構築	
2 あかりの質向上とSDGsへの貢献			■照明器具ストックSSL化 2018年度40% ▶ 2025年度 75% ▶ 2030年度 100% ■CSL＆HCL化率 2018年度 9% ▶ 2025年度 25% ▶ 2030年度 40% ■スマートシティ、HEMS等に連動したエリア防災照明システムの普及促進による、住宅及び屋外用非常灯の普及と認証制度の定着 ■光の効能や影響に関する正しい情報の発信及びあかりの質に関する新しい指標の普及啓発
地球温暖化ガス26%削減（2013年比）という国際公約達成の為、政府目標でもある2030年までに照明器具ストック市場におけるSSL化率100%を目指し、地球環境向上に貢献する。	1. ストック市場のSSL化加速による地球環境への貢献	2-1-1. ストック市場のSSL化率推移の見える化推進 2-1-2. 取替えリニューアル活動の推進（市場分野別のリニューアル促進活動）	
“CSL & HCL”（様々なモノ、コトにつながる多機能照明と人にやさしい、安全で、快適・便利なあかり）の普及を通じて、新たな機能の創出、あかりの質向上により、新たな空間価値を創造する。	2. “あかりの質向上”による新たな空間価値の創出	2-2-1. “CSL & HCL” による高付加価値製品の普及促進 2-2-2. エリア防災照明システムの普及促進（スマートシティ、HEMSなどとの連携） 2-2-3. “光影響” に関する調査研究 2-2-4. 新光源（OLED、レーザー照明など）の調査及び用途開発	
3 グローバル化・ボーダーレス化への対応			■GLAや各国の照明工業会と活発な交流と情報交換が行われている。 ■JETRO/JICAなどの国際機関との連携強化 ■新興国イベントへの積極的な参加を通じた日本照明のPRとビジネスマッチング等による海外進出支援 ■海外からの粗悪品流入阻止など、安全で健全な市場の維持向上
国内照明器具の出荷数量は、人口減少、新設住宅着工件数の減少に伴い、新設物件での照明器具の出荷数量は減少が予想される。 一方、主に新興国での人口増加と中産階級の拡大に伴い、世界照明市場は拡大する。2030年には世界経済の中心となる広域アジアをメインターゲットとした市場参入と事業拡大のための環境整備と日本照明製品のPRを行う。	1. 海外市場展開の為の環境整備	3-1-1. 各国政府、産業界との国際交流と情報収集 3-1-2. 政府間貿易関税交渉と連携した産業界としての対応推進	
	2. 日本照明のブランド化	3-2-1. 海外展示会参加による情報収集と日本照明PR 3-2-2. イベント＆ビジネスマッチング活動推進	
LED製品普及による製品のグローバル化、ボーダーレス化による日本市場にマッチしない輸入海外製品の増加に対する市場監視体制の強化を行う。	3. 公正で適正な競争ができる健全な市場の維持向上	3-3-1. 試買調査など市場監視体制の強化	

“Connected Industries”による パラダイムシフトへの対応

■“CSL & HCL”に関する標準化推進

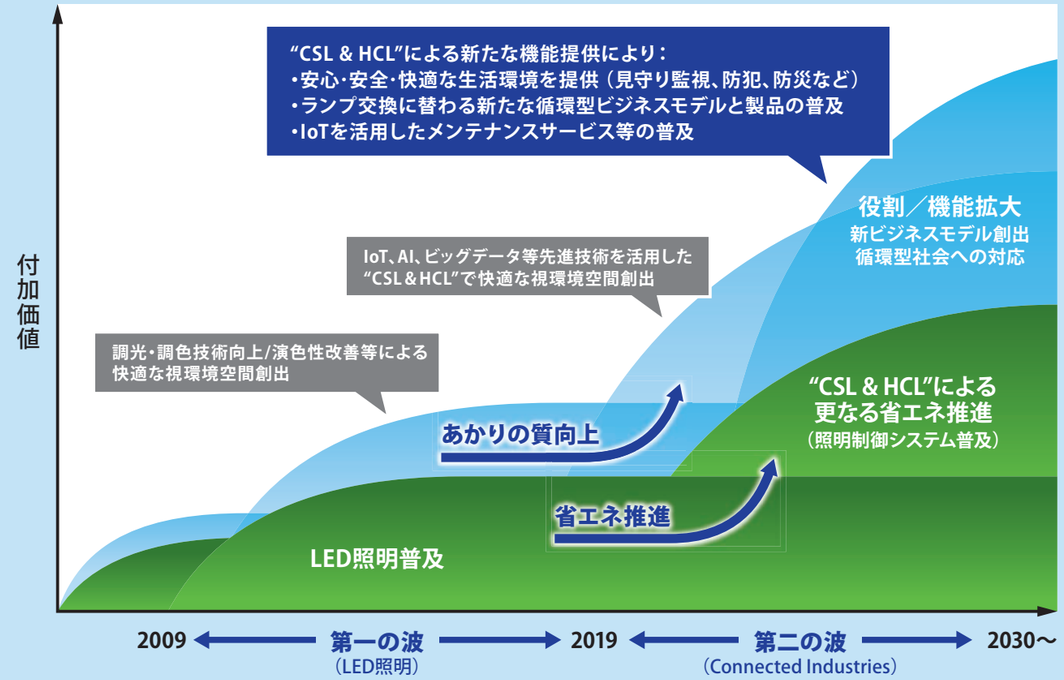
■IoT、AI、ビッグデータを核とした分野・業種を超えた連携強化



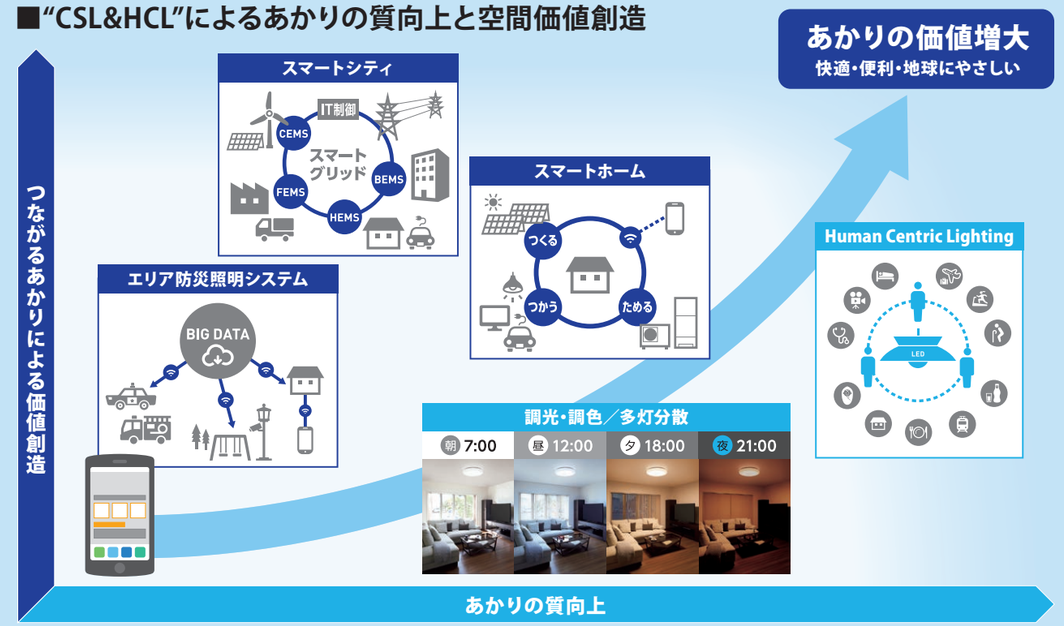
出所：経済産業省「スマートライフ政策（平成30年2月）」の資料をもとに作成

あかり文化の向上と地球環境への貢献
ー “CSL & HCL” の普及による空間価値創造 ー

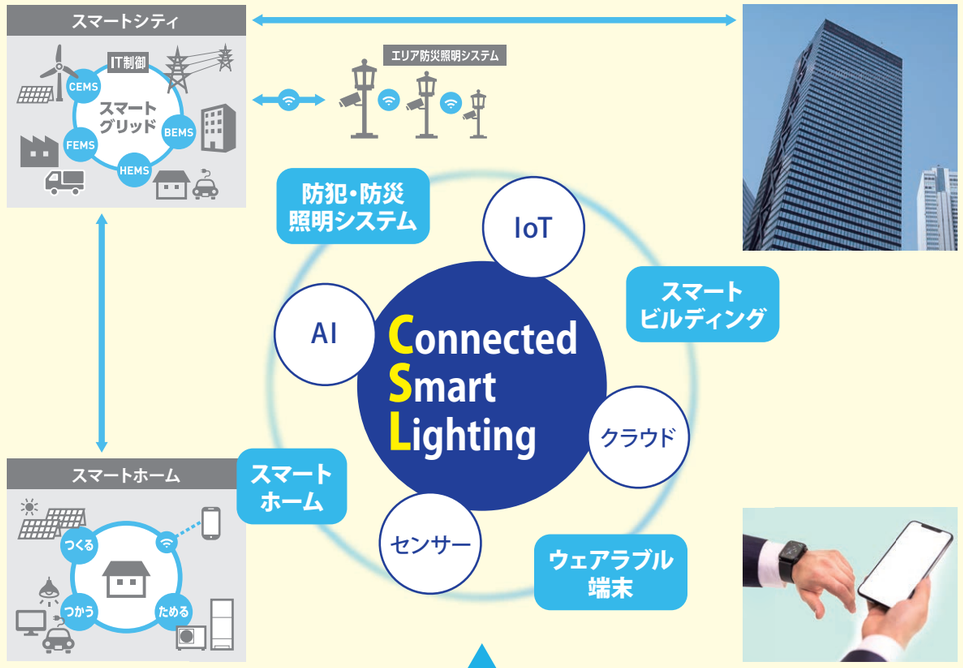
■あかりの価値／役割の拡大



■“CSL&HCL”によるあかりの質向上と空間価値創造

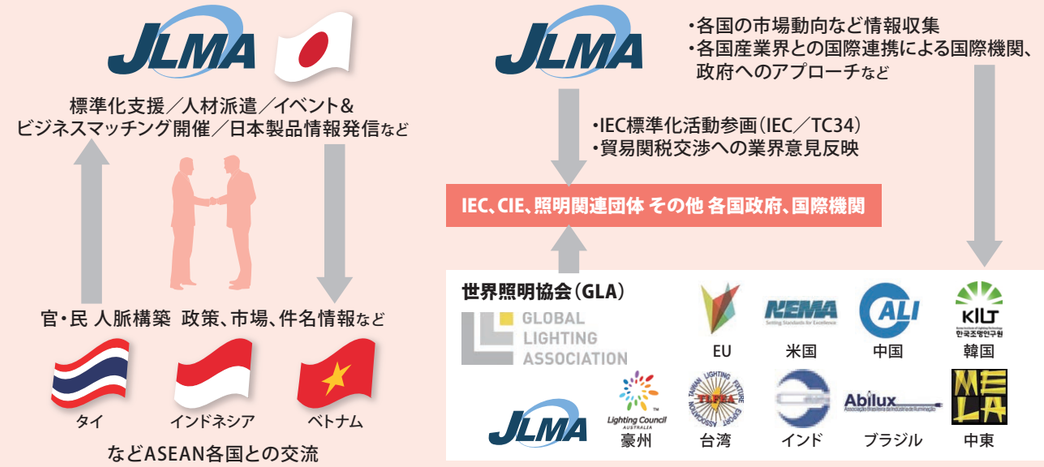


あかり文化の向上と地球環境への貢献
ー “CSL＆HCL”普及促進 ー



グローバル化・ボーダーレス化への対応

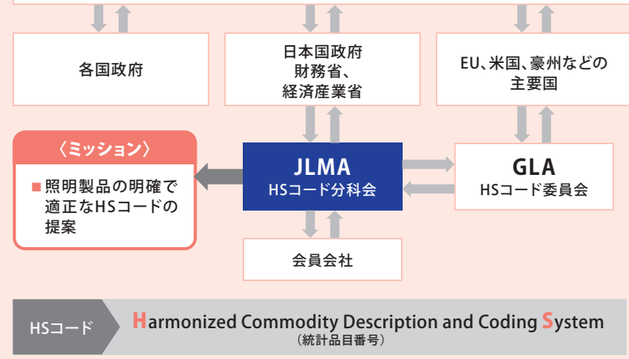
■各国政府・産業界との国際交流と情報収集



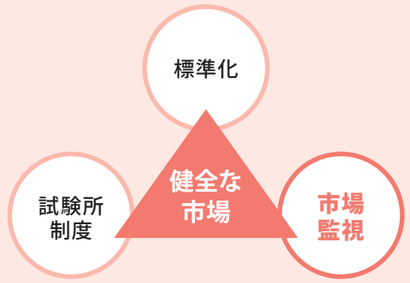
■日本照明のブランド化とビジネスマッチング活動

海外展示会でのジャパン・パビリオン

■政府間貿易関係交渉への業界対応(HSコードの見直し検討)



■公正で適正な競争ができる健全な市場の維持



LED製品普及による製品のグローバル化、ボーダーレス化

既存光源製品の生産縮小

日本市場にマッチしない海外輸入製品の増加

試買調査など市場監視体制の強化

一般社団法人日本照明工業会の概要

一般社団法人日本照明工業会（JLMA）は、照明機器（光源類、照明器具類、制御装置類及びこれらの構成部品）の製造及びこれに関連する事業の健全な発展、産業の振興、並びに国民生活における安全性の確保と生活文化の向上に寄与することを目的とし、主に標準化、普及啓発、認証事業、国際活動を推進しています。
2019年4月1日に、一般社団法人日本照明委員会（JCIE）を吸収合併し、照明と光に関する調査研究など、「あかりの質向上」に関する活動の強化を図っています。

一般社団法人 日本照明工業会
〒110-0016 東京都台東区台東4丁目11番4号 三井住友銀行御徒町ビル8階　TEL.03-6803-0501　FAX.03-6803-0064
https://www.jlma.or.jp

JLMA
あかりの未来へ
to the future of lighting

2019年3月制定